

移動しやすいみち、使いやすい施設でみたされる街 おおた を目指して



# おおもり街なか“すいすい”プラン

平成23年8月に策定した「おおた街なか“すいすい”ビジョン」の中で、蒲田駅周辺地区と大森駅周辺地区の2地区をバリアフリー法に基づく重点整備地区に指定しました。

## 大田区移動等円滑化推進計画（大森駅周辺地区）

大森駅周辺地区を対象に移動等円滑化を推進するため・・・

**「おおもり街なか“すいすい”プラン」を策定しました!**



課題を調べます!

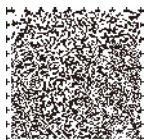
おおもりで  
“すいすい”を  
つくっていこう!



解決していきます!



目標年次は平成32年度（区施設は平成30年度）、短期の目標年次を平成27年度に設定して、“すいすい”を実現していきます。





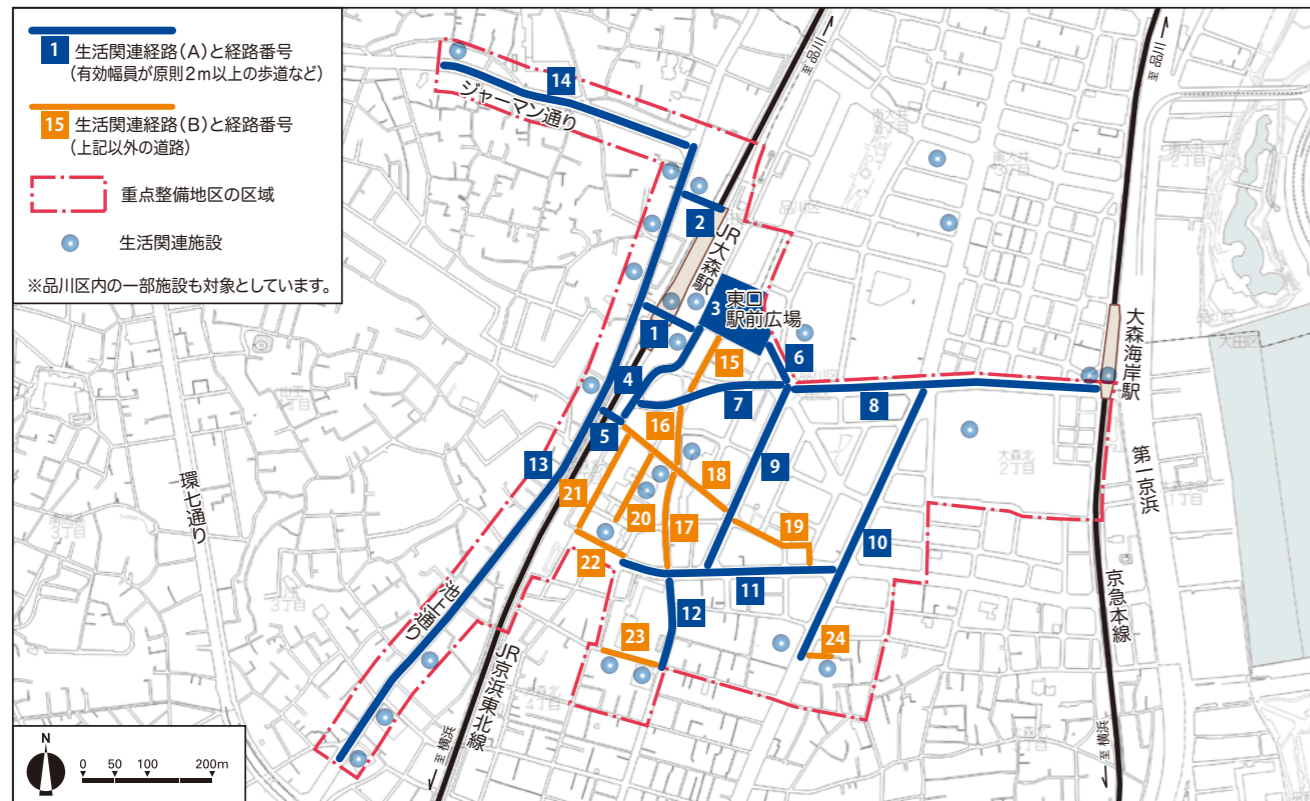
# 利用者目線の“すいすい”を実現します!

## ① “すいすい”を推進する場所を設定します

### ● 重点整備地区の範囲、生活関連施設・生活関連経路について

“すいすい”を重点的に推進していく範囲を設定し、生活関連施設・生活関連経路を設定しました。

#### その1 重点整備地区の範囲を定めます



#### その2 生活関連施設候補を定めます

多くの人々が日ごろ利用する施設を生活関連施設候補とします。

たとえば…

- 駅
- 郵便局・銀行
- 病院
- 都市ホテル など

#### その3 生活関連経路を定めます

生活関連施設間を結ぶ経路を生活関連経路とします。

たとえば…

- Luz大森とエセナおおたを結ぶ経路
  - JR大森駅と大森海岸駅を結ぶ経路 など
- 歩行者の安全性を高める歩道のある道路を基本に設定しています。

※本プラン策定の中で、特定事業等の協力が得られた施設を「生活関連施設」とします。

こんな場所で“すいすい”を進めるんだ〜♪



## ② 施設、経路の“すいすい”を推進します

### ● “すいすい”を推進するための事業について

“すいすい”を推進していくため、本プランでは、生活関連施設や生活関連経路の各事業者が取り組む事業である「特定事業」を設定しました。

#### ◆ 公共交通特定事業

対象：鉄道(駅)、バス(バス停)

たとえば…

|       |  |    |
|-------|--|----|
| JR大森駅 | エスカレーターに接する床面に運転方向の表示を設置<br>ホーム縁端に内方線付き点状ブロックを設置 | など |
|-------|--|----|

#### ◆ 建築物特定事業

対象：区施設、商業施設、病院等

たとえば…

|               |                                     |    |
|---------------|-------------------------------------|----|
| エセナおおた        | 案内サインの設置又は改善<br>視覚障害者誘導用ブロックの設置又は改善 |    |
| 三菱東京UFJ銀行大森支店 | 出入口幅の改善                             |    |
| アトレ大森         | だれでもトイレの案内サインの改善<br>トイレの案内サインの改善    |    |
| Luz 大森        | だれでもトイレの案内サインの改善                    | など |

#### ◆ 道路特定事業

対象：都道、区道

たとえば…

- 段差の解消
  - 勾配の改善等の道路構造の改良
  - 視覚障害者誘導用ブロックの設置
- など

#### ◆ 交通安全特定事業

対象：信号機や横断歩道等

たとえば…

- 音響式信号機の設置
  - エスコートゾーンの設置
- など

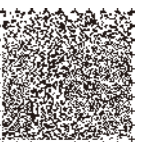
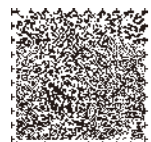
#### ◆ その他の事業

特定事業以外の事業(ソフト事業など)

たとえば…

- 放置自転車対策
  - 看板や商品等の道路上へのはみ出し解消
- など

みんなで“すいすい”な街をめざしていこう!



これからどうやって  
“すいすい”を進めていくんだろう…?



## ●本プラン策定後、1年以内に特定事業計画を作成します

プラン内の特定事業を、どのように実施していくのか定めたものを「特定事業計画」といいます。それぞれの事業者は“すいすい”の速やかな推進に向けて、1年以内に特定事業計画を作成します。

なお、日常の維持管理などで対応が出来るものは、特定事業計画の作成にかかわらず、出来るところから実施していきます。

## ●バリアフリーチェックシートを活用するなど、事業者の自発的な改善を誘発します

施設のバリアフリー化を推進するため、「バリアフリーチェックシート」を作成しました。今後は、今回点検対象としなかった施設でもチェックシートを活用するなど、自発的な改善へと結びつけていきます。

## ●事業の実施段階において、利用者意見を積極的に反映します

区民で構成される「おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー」などを活用し、利用者の意見を積極的に取り入れていきます。

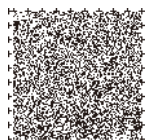
## ●区民や事業者の“気づき”による、心のバリアフリー化を促進します

施設・経路の“すいすい”の推進だけでなく、区民・事業者の理解を深め、心遣いによる“すいすい”の推進も促進していきます。



大田区移動等円滑化推進計画(大森駅周辺地区)  
おおもり街なか“すいすい”プラン  
概要版

平成25年3月  
発行：大田区まちづくり推進部  
〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号  
電話：03-5744-1303 ファクス：03-5744-1530



この冊子は音声コード付きです。左のマークが音声コードで、コードの位置を示すために切り込みを入れています。専用の読み上げ装置を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。

この冊子には、音声録音したCD版(DAISY録音図書)があり、音声で聞くことができます。